

第73回 「史料公開ニュース」 図書館

6月の史料公開ニュースでは、「インパール作戦」の昭和19年6月の時期に関係した陸軍文書等を紹介します。3月に日本側の攻勢で開始されたインパール作戦は英軍の強靭な防御力と日本側自身の補給能力の欠如によって、この時期、次第に戦況不利となってゆき、ついに失敗。7月4日に作戦中止命令が出され、以後、さらに困難な撤退作戦へと移行してゆきます。

題名	著作機関等	作成年 (又は 該当時 期)	史料内容	登録番号
1 第15師団戦史資料 昭13. 07~21. 05. 01	第15師団司令部	昭和13~21年	第15師団（祭兵団）が終戦後、タイから内地へ帰還するに際し、師団参謀、高級副官等が戦闘詳報、陣中日誌、メモ等を元に作成した史料である。終戦直後に作成された史料であり、第15師団のインパール作戦における戦闘状況を伝える史料である。	南西 ビルマ 8 8
2 第15師団戦史資料 昭21. 06. 17	第15師団司令部	昭和13~21年	終戦直後に復員省等において、作成され、厚生省を経て、防衛研究所図書館に移管された戦史資料のひとつである。第15師団（祭兵団）の戦歴（昭和13年の中支那派遣～インパール作戦を経て終戦まで）について記述している。	南西 ビルマ 9 3
3 「インパール」作戦における 烈兵团作戦概要 昭19. 03. 15~19. 06. 22	第31師団（烈兵团）長（当 時）陸軍中将 佐藤幸徳	昭和19 年	第31師団（烈兵团）長・佐藤幸徳中将がインパール作戦途中、師団長を罷免され、ラングーンの方面司令部に赴く途中、戦況報告のために記述した、作戦当時の一次史料である。	南西 ビルマ 1 1 2
4 第31師団戦史資料 昭18. 05. 上~20. 08. 15	第31師団司令部参謀 陸軍少佐 山本峯一郎	昭和18~20年	終戦後、第31師団（烈兵团）の復員にあたり、師団参謀・山本少佐が中心になって作成した史料である。インパール作戦における第31師団の戦闘状況を知る上で貴重な史料である。	南西 ビルマ 1 1 3
5 第33師団戦史資料 昭16. 11. 06~20. 08. 10	元33師団参謀 陸軍少佐 岩田正孝	昭和16~20年	残存資料と関係者の記憶等をもとに岩田参謀が昭和33年に作成した戦史資料である。残存する史料の少ない第33師団（弓兵团）のインパール作戦における戦闘について研究する上で重要な史料である。	南西 ビルマ 6 0 2
6 緬甸作戦記録 インパール 方面第15軍の作戦 S20. 08	第1復員局	昭和20 年	終戦直後に第1復員省史実調査部が第15軍司令官牟田口廉也中将及び第15軍参謀、隸下の第15、31、33師団参謀等の記憶に基づいて作成した作戦記録である。	南西 ビルマ 6 8 2